

青い鳥のお仕事をのぞいてみよう！

～就労支援センター・ソーシャルワーカーの場合～

<何をする人？>

障害のある方々が「働く」「働き続ける」ことに関する相談と支援を行います。

利用者からお話を伺いながら、一人ひとりに合った「働く時間、通勤距離、仕事内容」などの希望と職業能力・適正を考え、就労生活をサポートします。

<支援の対象はどんな人？>

市内在住（横浜市・川崎市）の障害（身体障害・知的障害・精神障害・発達障害・難病）があり、企業就労を目指している方・企業就労している方が対象となります。（手帳の有無は問いません）

<どんな支援をするのか教えて！>

- 求職活動支援：一緒に就職までの道のりをサポート
- 職場定着支援：企業に長く安定して働くことが出来るようにサポート
- 関係各所との連携：区役所や生活支援機関、就労系障害福祉サービス事業所、企業、ご家族との連携

<ある一日の流れ>

08:20【出勤】

PC を立ち上げてニュースやメールを確認したり、コーヒーやお茶を飲んだりしながら、リラックスして業務が開始できるよう準備をします。

08:45【始業】

朝礼で一日の面談・外出予定の確認、新規相談者の情報共有を行います。職員同士の連携がスムーズに行くように、一人ひとりの予定の把握をしておくことがとても重要です。

就労支援員は外勤が多いため、全員揃うのは朝だけ、なんていう日もあります。

09:30【実習巡回・職場訪問】



<求職活動支援>

ある求職者が、企業就労を目指して職場体験実習に参加しています。この日は館内清掃の現場巡回に伺いました。困っていることがないか・食事や睡眠はしっかりとることができているか、等の聞き取りをします。企業担当者からご本人の様子を伺い、作業評価をいただきます。

〈職場定着支援〉

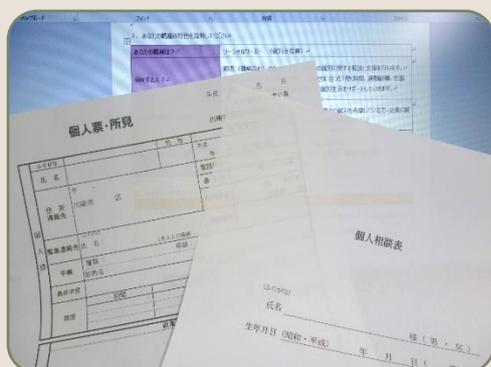
ある就労者の職場を訪問し、実際に行っている業務の様子を確認します。この日は、発送作業をしており、宛名のシール貼りをしていました。業務の間に面談の時間をいただき、職場の作業環境や人間関係に変化がないか、困り事はないか等の聞き取りをします。企業の方からの相談に乗ることもあります。



事務・清掃・物流・店舗のバックヤード・工場など、様々な事業所に勤める就労者の支援を行っています。障害者雇用について理解し、日々関わっている現場担当者とお会いし、利用者の頑張りや成長を間近で見ると、私たち支援者もお役に立てて良かった、と思えます。

11:00【帰所】

センターに戻って、利用者の方の様子を整理します。

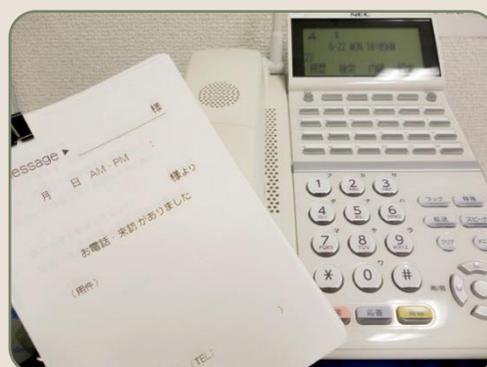


必要に応じて、区役所や生活支援センター等の関係機関、ご家族にご本人の頑張っている様子を共有します。

12:00【休憩】

お弁当を持ってきたり、外に食べに行ったり、買い物に行ったり、思い思いの過ごし方をしています。

就労されている利用者の方から、お昼休みに相談や報告の電話が入ることもあります。



14:00【来所面談】

初めての相談は、1 時間から 1 時間半程度の面談でお話を伺い、今後の支援の方向性を確認します。

〈求職活動支援〉

挨拶や言葉遣いが丁寧にできる・時間を守ることができる・生活リズムや身だしなみが整っている・報告連絡相談ができる等、就労する上で必要とされる「職業準備性」が整っているか確認した上で、ご本人と相談しながら履歴書作成や面接練習、ハローワークでの求人検索、企業実習や面接の同行を行います。

就労に向けた訓練を検討している方には、地域の就労系福祉サービスについて情報提供する等、その方の目指す職業生活に向けて相談支援を行います。



〈職場定着支援〉

仕事は順調か、部署異動や人事異動はないか、困り事はないか、余暇でストレス発散が出来ているか等、就労を含めた生活に変わりがないか確認を行います。

16:00【事務作業・記録】

メールや電話対応、相談記録等の事務作業をします。



地域の社会資源について調べたり、オンライン開催の研修動画をみたり、職員同士の報告・相談を聞いたりしていると、あっという間に時間が過ぎていきます。

17:15【退勤】

本日も一日おつかれさまでした。

〈その他〉

- 地域の就労移行支援事業所のご協力をいただきながら、新規相談者向けに就職サポート説明会を行っています。
- 関係機関とのつながりを深めるために地域のネットワーク会議に参加しています。
- お仕事をされている方の余暇・ピア活動支援のために、レクリエーションやビジネスマナークイズなどの就労者の会を開催しています。

